

## ひがしひろしま幼児教育・保育アクションプランの進捗状況について

取組み	内容	基本目標との関連				目指す姿	R2現在	R4実績	R5目標	R6目標	R4までの実施状況	課題	R5以降の取組み
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく								
<b>5つの力を育む魅力ある保育環境づくり</b>	<p>○外部アドバイザーの助言等を活用し、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。</p> <p>○保護者や地域の協力も得ながら保育環境づくりを進めることにより、地域共生による子育て支援を促進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。</p> <p>○保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、子どもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。</p>	○	○	○	○	5つの力を育む環境づくりが全施設の約6割で実施されています。	未実施	17施設	26施設	37施設	保育環境づくりに必要な費用について予算面で支援した。また、よりよい保育環境づくりのため、外部アドバイザーを招いた研修会を開催した。	5つの力を育む保育環境について、施設によって理解度に差がある。	事業を実施した施設の取組内容や成果について周知するとともに、当事業に参加していない施設も対象とした研修を実施し、保育環境づくりについての理解を深めることで、実施施設を増やす。
<b>自然保育の推進</b>	<p>○園内だけでなく、地域全体を教育・保育の実践の場として捉え、地域との協働も視野に入れ、本市ならではの豊かな自然を活用した保育を推進します。</p> <p>○広島県の「ひろしま自然保育認証制度」も活用し、自然保育の取組みが広がるよう啓発を行います。</p>	○	○			全市域にひろしま自然保育認証制度による認証施設があります。	5施設	7施設	未定	15施設	先進施設の視察を行うなどし、新たに2施設がひろしま自然保育認証制度による認証を受けた。	自然保育を取り入れているが、自然保育認証制度への申請に至っていない施設がある。	「ひろしま自然保育認証制度」について周知し、自然保育の取組について啓発する。
<b>公開保育の充実</b>	<p>○公開保育を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。</p> <p>○多様な関係者が参画することで、公開保育がつながりの場となるように取組みを進めます。</p>	○	○		○	全市域で公開保育が実施されています。	4地域	9地域	9地域	9地域	公立保育施設については全施設実施し、外部の関係者からの助言により資質向上につながった。	民間保育施設の実施施設が少ない（ハードルが高いという意識）。	民間施設から公立施設への公開保育参加により、つながりの場の提供や公開保育への実施に繋げる。
<b>保育コーディネーターの育成・連携</b>	<p>○専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーターを育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。</p> <p>○外部との連携だけでなく、園内における学び合いの風土づくりや職員間の連携についても保育コーディネーターの役割として位置付け、育成・連携を図ります。</p>	○		○	○	全施設へ保育コーディネーターが配置され連携が強化されています。	52施設	56施設	56施設	全62施設	令和4年度においては、民間保育施設を対象に養成講座を実施した。	保育コーディネーターの周知不足。 コーディネーターの様々な役割に十分対応している施設と力不足の施設の差がある。	令和5年度は、公立保育施設の保育主任・主任保育士を対象に養成講座を実施。 専門性を高める保育コーディネーターフォローアップ研修の実施。

ひがしひろしま幼児教育・保育アクションプランの進捗状況について

取組み	内容	基本目標との関連				目指す姿	R2現在	R4実績	R5目標	R6目標	R4までの実施状況	課題	R5以降の取組み
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく								
子育てサポート研修の改編	○キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上と、職員の処遇改善につなげます。 ○広島県や広島県保育連盟連合会等が開催する研修も併せて活用することで、キャリアや目的に応じた内容が受講できる環境を整えます。				○	市内で開催するキャリアアップ研修の充実	1コース	2コース	3コース	5コース	乳児保育に加え、マネジメントを追加した。往還型研修を実施することで、専門性の向上、職員の処遇改善につながった。	対面研修で、15時間受講を必須とするので、参加しづらい施設がある。	障害児保育を追加し、3コースでの実施とする。また、令和6年度以降に保護者支援を追加し更なる専門性の向上を目指す。
幼保小の連携	○公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して連携を促進し、子どもの発達と学びの連続性について、円滑な接続を図ります。 ○小学校就学に際し、常時連携が取れるような仕組みづくりを検討します。	○			○	全小学校区で、幼保小接続カリキュラムの編成・実施が行われています。	38施設でアプローチカリキュラム編成	全施設（小学校入学を見通した年長児の指導計画作成）	全施設（小学校入学を見通した年長児の指導計画作成）	全施設でカリキュラム編成・実践	公立保育施設と一部の民間施設、全小学校区で合同研修を行った後、学校区の保育施設での公開保育を行い連携を進めた。	民間施設の合同研修・公開保育への参加率が低い。	全市内保育施設の合同研修や公開保育の実施を目指し、子どもの発達と学びの連続性の共通理解を図る。
施設長研修	○対話による語り合いによってお互いを高める組織文化や、マネジメントの重要性について、施設長研修を実施し、組織としての力を高めていきます。					施設長のマネジメント力が向上し、学び合う組織文化が醸成されています。	未実施	50施設（全64施設中）	全施設の研修参加	全施設の研修参加	施設長の役割や保育の質の向上と充実に向けての取り組みの理解について研修の実施した。	研修参加に積極的な施設とそうでない施設との温度差がある。	保育所（園）認定こども園・幼稚園・認可外保育施設長の全施設参加を実施、市内全域の組織としての力を高める。
積極的な情報発信	○各施設が自らの「よさ」を発見し、ホームページ等を通じて積極的に情報発信していきます。 ○情報発信を行うことにより、より良い教育・保育や子育ての在り方を保護者や地域と共に考える機会とし、保護者の子育て力向上や、地域共生による子育て支援をします。	○	○	○	○	全施設でホームページ等による教育・保育の見える化が図られています。	29施設	56施設（全64施設中）	全施設	全施設	公立施設でホームページの掲載内容を充実させるとともに、メール配信等で保護者への情報発信を行った。	保護者への情報発信は充実してきているが、ホームページ等を通じた地域への情報発信が不十分な施設がある。	情報発信の手法やホームページの掲載内容について、好事例を示し、横展開させる。
取組み内容の評価	○保護者アンケートを実施し、その結果を公表することにより教育・保育の見える化を推進します。 ○職員や外部アドバイザー等による評価を行い、取組み内容の改善を図っていきます。	○	○	○	○	様々な取組みを評価する手法が確立され、PDCAサイクルが回っています。	未実施	全施設で保護者アンケート、18施設で保護者・保育者アンケート実施	全施設で保護者アンケート、16施設で保護者・保育者アンケート実施	評価方法の確立・運用	全施設の保護者を対象とした満足度調査を行うとともに、広島大学との共同研究による保護者・保育者アンケートにより、アクションプランの効果検証手法の確立を図った。	アンケートの回答率が低い。	保育所等の取組に興味を持ってもらえるよう、保護者への情報発信を充実させるなど、保護者との連携の強化に努める。また、評価手法等を各施設で実践できるようにする。